

食道癌

レジメン番号	レジメン名称	薬品名	投与量	投与スケジュール	1コースの期間	催吐リスク
E-01	FP療法（術前：80/800）	シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1	21日間	高度（+オランザピン）
		フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
	FP療法（術後：80/800）	シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1	28日間	高度（+オランザピン）
		フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
E-02	FP-radiation療法 (60Gy-70/700)	シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1	28日間	高度（+オランザピン）
		フルオロウラシル	700 mg/m <sup>2</sup>	d1-4		
E-03	FP-radiation療法 (50.4Gy-70/700)	シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1	28日間	高度（+オランザピン）
		フルオロウラシル	700 mg/m <sup>2</sup>	d1-4		
E-04	CDGP+5-FU療法	ネダプラチン	90 mg/m <sup>2</sup>	d1	28日間	中等度
		フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
E-05	triweekly DTX療法	ドセタキセル	70 mg/m <sup>2</sup>	d1	21日間	軽度
E-06	weekly PTX療法	パクリタキセル*	100 mg/m <sup>2</sup>	d1,8,15,22,29,36	49日間	軽度
E-07	DCF療法（術前）	ドセタキセル	70 mg/m <sup>2</sup>	d1	21日間	高度（+オランザピン）
		シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1		
		フルオロウラシル	750 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
E-08	DCF療法（30-80-800）	ドセタキセル	30 mg/m <sup>2</sup>	d1,15	28日間	高度（+オランザピン）
		シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1		
		フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
E-09	Nivolumab単独療法①	ニボルマブ	240 mg/body	d1	14日間	最小度
	Nivolumab単独療法②	ニボルマブ	480 mg/body	d1	28日間	最小度

食道癌

レジメン番号	レジメン名称	薬品名	投与量	投与スケジュール	1コースの期間	催吐リスク
E-10	FP-radiation療法 (50.4Gy-75/1000)	シスプラチン	75 mg/m <sup>2</sup>	d1	28日間	高度 (+オランザピン)
		フルオロウラシル	1000 mg/m <sup>2</sup>	d1-4		
E-11	FOLFOX療法	レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	d1	14日間	中等度
		オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	d1		
		フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>	d1		
		フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	d1 (46時間)		
E-12	Pembrolizumab+FP療法①	ペムブロリズマブ	200 mg/body	d1	21日間	高度 (+オランザピン)
		シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1		
		フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5		
	Pembrolizumab+FP療法②	ペムブロリズマブ	200 mg/body	d1	21日間	軽度
フルオロウラシル		800 mg/m <sup>2</sup>	d1-5			

\*添付文書に従い、前投薬を使用